

## 優良草地の造成には

自信を持っておすすめできる

## 雪印育成基幹牧草

# 3 H 品 種

— 山下 太郎 —

Hamidori	アカクローバ	(ハミドリ)	北海道・東北・中国・四国優良奨励品種、OECD登録品種
Hayking	オーチャードグラス	(ヘイキング)	東北・関東・中国・四国優良奨励、北海道準奨励品種
Hokuo	チモシー	(ホクオウ)	北海道・東北優良奨励品種、OECD登録品種

**3H品種**はいずれも札幌研究農場で耐病・多収を目標に育成されました。育成過程において、個々の能力の追求と併行して、3H品種間の混播組合せ能力の向上が図られ、単播条件はもとより混播条件（通常の草地利用）で一層すぐれた能力および特性が発揮されます。

**3H品種混播草地**はオーチャードグラス（ヘイキング）とチモシー（ホクオウ）の共存度合が高いこと（出穂期が一致し、競合が緩和される）、さらにアカクローバ（ハミドリ）の利用年限延長が期待できること、それらの相乗効果によって栄養バランスのとれた健康な牧草を長期間に亘って生産することが可能です。

3H品種が**4H品種**にパワーアップされる日も間近です。現在北海道内6試験場で、私どもの育成したメドウフェスクおよびアカクローバの新品種が検定を受けております。（ホットニュース!）どうぞご期待下さい。

### 3H品種を主体とした混播播種設計

基幹草種	(kg/10a)
アカクローバ (ハミドリ)	0.5~0.7
オーチャードグラス (ヘイキング)	0.7~1.0
チモシー (ホクオウ)	1.0~0.7
随伴草種	
1~3草種	0.3~0.6
計	2.5~3.0

**3H品種を主体とした多種類混播草地**をおすすめいたします。3H品種の組合せは採草地、放牧地いずれにも適用できますが、利用目的あるいは土壌、気候条件により合致させるためには、メドウフェスク、ケンタッキーブルーグラス、ラジノクローバ、シロクローバ、アルサイククローバ、アルファルファ等の中から1~3草種をつけ加える必要があります。

**多種類混播草地（牧草）**の考え方、管理実行は、まず予測できない自然現象（異常気象、病害激発等）に対処できること、同時に乳牛の嗜好性、健康保持の観点に立脚し、草種・品種を中心に環境を含めた草地の変化を生態学的に把握し、時間をかけて量及び質の向上へ推進してゆこうとする願いです。

